

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、12～21℃台を示し、やや高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり15トンの水揚げで、前週の1.9倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。北松南部地区では、ウルメイワシなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。
- イカ釣――ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり7kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり376kgの水揚げ。北松生月地区では、ブリなどが1日1統当たり1.2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、ブリなどが1日1統当たり74kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり26kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり341kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（12/19～12/24日の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は隠岐諸島北側～酒田沖に出漁。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、山口沖～隠岐諸島周辺～能登半島～佐渡沖に出漁。

鳥取県西部（沖合船）入港船なし。今期も能登半島沖～佐渡沖が主漁場となった。隠岐諸島周辺でもスルメイカが若干獲れた。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

次回の漁海況週報は、令和2年1月10日（金）の発行になります。

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>